



産報出版株式会社
東京本社(〒101-0025)
東京都千代田区神田佐久間町1-1-1
産報佐久間ビル 電話 03-3258-6411
FAX 03-3258-6430
関西支社(〒556-0016)
大阪市浪速区元町2-8-9
難波ビル 電話 06-6633-0720
FAX 06-6633-0840
年間購読料:25,633円(税込)

インタビュー

中部レーザー应用技术研究会

会長 沓名宗春氏

12月2日、中部レーザーにこだわりを持ってレーザー应用技术研究会(沓名宗春会長)は、第1レーザー加工の今後について19回目となる「レーザー」について尋ねた。

レーザーは、「アルミニウムレーザー加工技術は、当のレーザー溶接」だ。黎明期であれば1社のみの場合、現在はレーザー先進的な企業、もしくは関連企業・団体から1は1人の天才的な技術者が集まり、盛り上がりを見せている。近年は、研究会は、実施している中国の安価なファイバーレーザーが世界中に普及してきているという事例もあり、多くの企業・技術者がレーザーに触れることができる



12月2日に当研究会

テーマ重視した研究会実施

ようになっけてきている。今後は、1企業や個人ではなく、チームを組むことが重要視されるようになっていくだろう。これは、レーザー加工の認知度が向上している、多くの注目を集めるに至ったことを意味している。発振器・光学系・システムエンジニアリングをはじめ、幅広い技術・製品群を1社で試して最適を見つけるには限界があるため、レーザー関連企業はチームとして活動する潮流にあり、当研究会のようなレーザー団体に求められる役割は大きくなっていくだろう。当研究会も、ありがたいことに会員数が増加している。

レーザーはチームで開発する時代

が実施したレーザーの講視光への注目、オーディオのテーマは「アルミニウムレーザー溶接」。アルミニウムのレーザー加工が活発に使われてきた溶接技術が、「職人の勘所」に加えて、レーザーへの専門的な知見が必要だ。当然、一朝一夕で獲得できるものではない。だからこそ、想定より遥かに多くの来場者が集まり、講演に興味が持っていた。また近年、レーザーは「実用性」への要望が高まっている。一方で、レーザーをはじめとした新技術の多くは、研究の末に発見され、産業に適用していくものがある。新たな適応方法が生み出されるにつれて、当協会は「レーザーの出力方向に伴う適応事例の増加、ブルーレーザー、グリーンレーザーなどの可

レーザーニュース